

Diezel Herbert

プラグインマニュアル



Developed by Brainworx Audio in partnership with Diezel GmbH and
Distributed by Universal Audio.





その他の多くのブティックブランドと同じように始まりました。： 80年代に MunichのロックバンドでプレーしていたPeter Diezelは、使っていたMarshallに満足できず、それを改造すると、しばらくしてから多くのプレーヤーが彼の改造Marshallを入手するために連絡を取るようになりました。

その頃、彼はライブ中にステージでアンプを微調整することで有名でした。しかし、“Marshallプラットフォーム”の限界は、新しい概念を試すには難しいものでした。：MIDI切り替え可能な4チャンネルアンプ。幸いなことにPeter Diezelは、セールス/マーケティングのバックグラウンドが強いプロフェッショナルである Peter Stapferに出会いました。1994年に節目となるVH4を発売しました。VH4は現在も販売されており、発売後10年間で少しずつ微調整されました。

90年代後半、音楽シーンの移り変わりがあり、ハード/ヘビーなサウンドが台頭し、アンプ市場はよりモダンなコンセプトを求めています。Peter Diezelは、それに対しHerbert、Einstein、Hagen、D-Mollというモデルのアンプで回答しました。

Herbertは、白紙の設計図から始まりました。Peter Diezelは異なったパラメーターのセットから考え始めました。目標は、箱から出してすぐにパラメーターを12時の位置にしたままきめ細やかなクランチとアグレッシブなソロサウンドをすぐに得られる繊細でダイナミックな輝きを持つ並外れた性能を持つアンプを作ることでした。

余裕のあるヘッドルーム、洗練されたクリーン、そしてダーティな歪んだサウンドを備えたHerbertは他の多くのアンプと異なった特徴を持っています。





Diezel Herbertは、独立したEQを含む3系統の独立チャンネルを備えたパワフルな180Wヘッドで、あらゆる出力レベルにおいて調整したサウンドを忠実に再現します。

7弦、8弦ギター時代に産まれたHerbertはこれまで以上にモダンな設計です。非常にタイトなボトムエンドとパーカッシブなアタックを備えています。それは約180Wのパワーを持つ6基のKT77パワーチューブで、おそらくあなたが今までにプレーしたどのアンプよりも多くのヘッドルームを持っています。

Brainworxは、Diezel HerbertをApollo専用に忠実にモデリングしました。このプラグインは、Universal AudioのUnisonテクノロジーを最大限に活用し、超リアルなプレイアビリティと本物のチューブハードウェアのレスポンスを再現しています。Herbertを使用してニアゼロ・レイテンシーでライブ演奏に使用したり、またはレコーディング後に完璧なトーンに調整することも可能です。

プラグインがDiezel Herbertのハート&ソウルで釘付けにするだけでなく、Brainworxプロダクトにも搭載されていた拡張機能も使用することが可能です。ホストシンク可能なLo-Fiディレイ、ノイズゲート、タイト&スムーズフィルター、パワーソークやパワーアンプバイパスを備えたFXラックが用意されています。

これに加え、Brainworxのスタジオでは、ブティックキャビネット、ハイエンドのマイクロフォン、Neve VXSコンソール、SSL 4000チャンネルストリップ、Amek 9098チャンネルストリップ、そして伝説的なTelefunken V76プリアンプを使用して作成された120種類以上のインパルスレスポンスがあります。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



主な機能

- オリジナルのDiezel Herbert チューブギターアンプのエミュレーション
- Peter DiezelとPeter Stapfer公認のプラグイン
- Herbertは、広いヘッドルーム、洗練されたクリーン、ダーティなサウンドなど、あなたが今までに体験したアンプとは異なります。
- 約180ワットを実現する6本のKT77パワー管
- 120種類のBrainworxが作成したハイエンドなインパルスレスポンスを含む
- FXラックには、ホストシンク可能なLo-Fiディレイ、ノイズゲート、タイト&スムーズ・フィルター、パワーソーク、プリアンプ&パワーアンプ・バイパスを搭載
- Apolloインターフェイス用のUnison™ テクノロジー

Unisonテクノロジー



Diezel Herbertプラグインは、Apolloシリーズのインターフェイスで使用されることを念頭に開発され、Unisonプリアンプテクノロジーに対応しています。Diezel Herbert は、どのUAD-2デバイスでも使用できますが、重要なインピーダンス、リアルなアンプのスイートスポット、サーキットの挙動などを超低レイテンシーで使用するには、Apolloインターフェイスを必要とします。これを実現するには、ApolloのConsoleアプリケーション内のプリアンプインサートにDiezel Herbertをインサートする必要があります。この方法により、サウンドのトーン全体や、動作などがオリジナルのハードウェアを正確に再現することができます。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



アンプ

プリアンプとその機能

Diezel Herbertは、3系統の完全に独立したプリアンプを装備しています。これにより、アーティストは自分のアンプに大きな変更を加えることなく考えられるあらゆる音楽スタイルの演奏に対応可能です。プリアンプは、ギタリストが求めているトーンのフレーバーを届けるために、1-クリーン、2-クランチ/ヘビー、3リードを用意しています。

コンセプトは、優れたプレイアビリティ、ウォームなダイナミクス、鋭いイコライゼーションの可能性を備えた3系統の輝くようなギターサウンドの提供です。トーンコントロールは、ワイドレンジに調整可能です。他のものよりも少量で効き目が絶大です。すべてのコントロールを12時に設定した状態でサウンドの調整を始め、最終的にマスターボリュームを調整することをお勧めします。

チャンネル 1

チャンネル 1は、クラシックなDiezelクリーンを提供し、ピアノのようにソリッドでピュアなサウンドです。巨大なヘッドルーム、クリスタルのような輝き、適度なミッドがバランスよく揃い美しくまとめられています。ボリューム、トレブル、ミドル、ベースのEQポイントは、プレイヤーが望むサウンドを手に入れられるよう慎重にチューニングされています。ミッドカットは、音作りにさらに多くの選択肢を与えます。

チャンネル 2

チャンネル2は、デュアルボイスング・トグルスイッチを使用して繊細なサウンドから激しい歪み、そして過激なソロサウンドに至るまで幅広いクランチトーンを提供します。(−)モードでは、“ビンテージ”クリーンからJCM800のPlexiサウンド再現しています。(+)モードは似たようなボイスを持ちますが、タイトでパンチの効いた速いアタックを持つDiezelのトレードマークともいえるクランチサウンドが得られ、リズミクなフレーズに最適なトーンをより多くのゲインで演奏することが可能です。このチャンネルで多くのゲインを得ることができます。チャンネル3でプレーするまで、チャンネル1と2だけで満足することができるでしょう。

チャンネル 3

チャンネル3は、優れたピッキング感度とノートコントロールが可能なハイゲインチャンネルです。パーカッシブで、強烈なサウンドと説明することができます。メタルのリズムからスクリーミングリードサウンドまでプレイヤーのスタイル、ギター、テクニックによって異なるフィーリングを提供します。サウンドのバイト感をあつぷするためにミッドをクランクしてください。シンプルにボリュームブーストとしてセカンドマスターを使用可能です。チャンネル3は、マッスルであり、ゲインを使い果たすことはないでしょう。

ミッドカット

多用途なミッドカットは、すべてのチャンネルにアサインでき、オンにした場合の出力マッチング用のレベルコントロールも装備しています。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



プリアンプチューブ

プリアンプは、すべてのポジションに12AX7チューブを使用しています。プリアンプチューブは、大きなパワーを出すために使用されるのではなく、シンプルにプリアンプとして使用されています。したがって、それらの平均寿命は、パワーアンプのチューブよりもはるかに長くなります。これは、アンプの全体的なサウンドとレスポンスにおける重要性を損なうことはありません。また、パチパチというノイズやダイナミクスの低下のような厄介な欠陥は、プリアンプに直接関係していることが多く見受けられます。他のすべてのチューブと同様に12AX7チューブには、様々なゲインステージがあり、様々なトーンを提供します。当社の製作時の選択は、低ノイズ、優れた信頼性、多種多様なトーンを確実に得られるためになされました。

チャンネル1(クリーントーン)

クリーンアンプはどのように聞こえるべきかについては、非常に多くの異なるアイデアがあり、非常にセンシティブでデリケートなテーマです。クリーントーンの質感は、ハードでパーカッシブなサウンドからソフトでウォームなサウンドまで、歪んだサウンドよりもはるかに高いダイナミックレンジを必要とします。Herbertは、できるだけ多くの多様性のあるクリーンサウンドを提供できるよう設計されました。ギターとピックアップの選択がこの方程式の大部分を占めるでしょう。

1 ボリューム

チャンネル1全体の出力を調整します。

2 トレブル

トレブルを調整します。時計回りに回すとトップエンドの量が増え、音色に明瞭さや明るさが加わります。反時計回りに回すとウォームなサウンドになり、滑らかでジャズ風の音色が得られます。

3 ミドル

ミッドレンジを調整します。時計回りに回すと中域の量が増加します。反時計回りに回すと、中域が減少し、ミッドスクープされたサウンドが得られます。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



1 ベース

ベースの量を調整します。時計回りに回すとボトムエンドの量が増え、よりリッチなトーンが得られます。反時計回りに回すとボトムエンドが減少します。これは大きなボリュームで演奏するときに便利です。

チャンネル2(クランチ)

このチャンネルの主な目的は、ソフト&ヘビーなオーバードライブとディストーションサウンドをカバーすることです。-/+ でセッティング可能なボイシングスイッチを備えており、(-)を選択すると、ブルースやクラシックロックのサウンドが得られます。(+)を選択すると、すべてが数ノッチ上がり、パンチの効いたリズムと強烈なソロサウンドが手に入ります。

2 ゲイン

チャンネル2の全体的なゲインを調整します。

3 ボリューム

チャンネル2の全体的な出力を調整します。

4 トレブル

トレブルを調整します。時計回りに回すとトップエンドの量が増え、音色に明瞭さや明るさが加わります。反時計回りに回すとウォームなサウンドになり、滑らかでジャズ風の音色が得られます。

5 ミドル

ミッドレンジを調整します。時計回りに回すと中域の量が増加します。反時計回りに回すと、中域が減少し、ミッドスクープされたサウンドが得られます。

6 ベース

ベースの量を調整します。時計回りに回すとボトムエンドの量が増え、よりリッチなトーンが得られます。反時計回りに回すとボトムエンドが減少します。これは大きなボリュームで演奏するときに便利です。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



チャンネル3(リード)

このチャンネルは、非常にわかりやすいシングルのノートライン、または非常にヘビーでマッシブなリズムギターに適しています。わずかなミッドレンジのアクセントと非常に高いゲイン構造によりパンチがありながらも扱いやすいサウンドはステージやスタジオを支配します。ここでも“より少ない方が良い”というルールが適用されます。

1 ゲイン

チャンネル3の全体的なゲインを調整します。

2 ボリューム

チャンネル3の全体的な出力を調整します。

3 トレブル

トレブルを調整します。時計回りに回すとトップエンドの量が増え、音色に明瞭さや明るさが加わります。反時計回りに回すとウォームなサウンドになり、滑らかでジャズ風の音色が得られます。

4 ミドル

ミッドレンジを調整します。時計回りに回すと中域の量が増加します。反時計回りに回すと、中域が減少し、ミッドスクープされたサウンドが得られます。

5 ベース

ベースの量を調整します。時計回りに回すとボトムエンドの量が増え、よりリッチなトーンが得られます。反時計回りに回すとボトムエンドが減少します。これは大きなボリュームで演奏するときに便利です。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



ミッドカット

ミッドカットセクションには、インテンシティとレベルコントロールがあります。ヘビーまたはニューメタル・タイプのスタイルのプレイヤーのために設計されたインテンシティコントロールは、約400Hzの低中域を減衰させます。この機能を有効にした時に起こりうるボリュームのロスを補正するために、レベルコントロールを使用してインテンシティ適用前と同じボリュームに調整することができます。

1 インテンシティ

約400Hz付近の低中域を減衰させます。

2 レベル

この機能を有効にした時に起こりうるボリュームのロスを補正します。レベルコントロールを使用してインテンシティ適用前と同じボリュームに調整することができます。

パワーアンプリファイアー

パワーアンプの音色と音量

3 マスターボリューム (Vol. 1 & Vol.2)

名称が示すように、これはアンプの全体的なボリュームをコントロールします。プレーしている間、リモートコントロールを使用してボリューム調整を可能にする第二のプログラマブル・マスターボリュームもあります。両方のコントロールは、低いパフォーマンスのエフェクトユニットでもループ内で使用、増幅可能なようにレイアウトされています。

4 プレゼンス

このノブは、3kHz以上の周波数をコントロールします。トレブルは、スピーカーから非常に小さなビームで生成され、分散するので、調整を行う場合、スピーカーの投影領域内に自分自身を置いて調整してください。

5 ディープ

ディープコントロールは、従来のベースコントロールとは対照的にアクティブなベースコントロールです。パワーアンプの全体的なダイナミックレンジに影響を与えることなく、120Hz前後の周波数をコントロールします。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



FX ラック

ノイズゲート

1 クローズド

このLED が点灯しているときは、ノイズゲートが閉じていることを示します。これは、スレッショルド値よりもギターのスIGNALが低くなり、ノイズゲートが、レンジコントロールで調節した値の分、アンプのアウトプットシグナルを減衰させます。(上図では30dB)

2 ノイズゲート・オン/オフ

ノイズゲートのオン/オフを切替えます。スイッチが上向き(“ON”)でノイズゲートがオンになります。

3 スレッショルド

連続可変ノブ、-120db ~ 0db。ノイズゲートは、ギターからのシグナルが一定のレベルを下回るとアンプのアウトプット・シグナルを減衰させます。このレベルのことを“スレッショルド”と言います。オーバードライブしたアンプのノイズが削減されるようにスレッショルドを調整しますが、ギターそのもののサウンドに影響が無いように調整してください。

4 レンジ

連続可変ノブ、0db ~ 100dB。インプットシグナルがスレッショルドを下回った場合、アンプのアウトプットレベルを減衰、またはミュートします。その減衰値をコントロールします。最大値ではアウトプットをミュートすることができます。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



アンプフィルター

1 タイムフィルター

3ポジションスイッチ:プリ、ポスト、オフ。タイムフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの低域をカットすることができます。

- **Pre:** ギターのピックアップからのサウンドで低域がもたつく場合、アンプに入力する前にローエンドをフィルタリングすることができます。
- **Post:** アンプ・セッティングで発生したローエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのハイパスフィルターを使用して低域を抑えることができます。
- **Off:** タイムフィルターをバイパスします。

2 タイムフィルター

タイムフィルターを使用してDIギター信号(Pre)、または処理されたアンプ出力(Post)でカットする低域周波数を設定することができます。

3 スムースフリーケンシー

タイムフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

4 スムースフィルター

3ポジションスイッチ:プリ、ポスト、オフ。スムースフィルターを使用すると、DIギター・シグナル(PRE)、またはプロセッシングしたアンプのサウンド(POST)、いずれかの高域をカットすることができます。

- **Pre:** ギターのピックアップからのサウンドでヒスやノイズが多く感じる場合、アンプに入力する前にハイエンドをフィルタリングすることができます。
- **Post:** アンプ・セッティングで発生したハイエンドをカットしたい場合、このスタジオ・クオリティのローパスフィルターを使用して低域を抑えることができます。
- **Off:** スムースフィルターをバイパスします。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



ディレイ

ビンテージのストップボックス・ディレイをモデリングし、限られた周波数帯域、リピートの高域減衰等、その代表的なサウンドを再現しました。その後、ミックスコントロールや DAW コントロールの BPM ベースのテンポシンク等の現代的な機能も追加しました。もちろん、自分のギター・サウンドを出すためにコーラス、フランジャー、リバーブや、他のディレイのような外部のエフェクトも使うことができますが、我々のディレイによって素晴らしいサウンドが得られるプリセットがあることを試して頂きたいと願っています。ディレイのタッチを聞かずにリード/ソロのサウンドをテストすることは多くのプレーヤーにとって現実的ではないと考え、このエフェクトを加えました。我々は、このビンテージ・ディレイのサウンドが本当に気に入っています。

1 ディレイ オン/オフ

ディレイエフェクトとそのパラメーターのオン/オフを切り替えるために使用します。

- スイッチが上向き: ディレイはオン
- スイッチが下向き: ディレイはバイパス(オフ)

2 タップ*

マウスで TAP ボタンを曲に合わせてリズムカルにクリックすることで、ディレイタイムを調整することができます。DAW や BPM ベースのテンポに合わせてプレーしなくても、ディレイのテンポをギターのリフに合わせることができます。テンポが一定していない曲を演奏する際に便利です。

3 タイム

タイムノブを使用してミリ秒単位でディレイタイムを調整することができます。調整可能なディレイタイムは、15ms ~ 1000msまでです。

4 x2*

Use このボタンによってディレイタイムの2倍に設定することができます。

5 /2*

このボタンによってディレイタイムの半分に設定することができます。

x2 & /2 ボタン

400msの最大ディレイタイムを超えない範囲で両方のボタンを繰り返し使用することができます。

* 注: カスタムコントロール: オートメーション非対応





Diezel Herbert

Plug-in Manual



1 ホストBPM

GUI上でBPMナンバーをクリックするとプルダウンメニューが開き、二分音符、四分音符など音符の値でディレイタイムを接っていることができます。すべての値はBPMウィンドウに表示されているテンポを元に計算されます。テンポはオーディオセッションのテンポと自動的に同期します。

2 ミックス

必要に応じて、ドライのアンプサウンドとディレイタイムを調整する MIX コントロールを使用してください。控え目なディレイの場合、約10%程度、濃いディレイを必要とする場合は、50%以上の設定が必要な場合があります。

3 フィードバック

ディレイ音を繰り返す回数をコントロールします。99%の設定は、ほぼ無限のディレイループとなります。ロックのリードサウンドでの一般的な設定では25%前後であると言えます。

4 Lo-Fi

LO-FI ノブを右に回すとディレイのフィードバック・シグナルの音質を下げる効果をもたらします。これはフィードバック・シグナルをローパスフィルタリングと、歪みを与えます。しかし、多くの場合、ギター的なサウンドやスタイルと与えることができます。

レコーディングチェーン

BrainworxアドバンスIRテクノロジー

シンプルに“REC CHAIN”プルダウンメニューをブラウジングしてスピーカーと完璧なスタジオセットアップを選択してください。

Brainworx のオーナーDirk Ulrich は、過去20年の間にDREAM THEATER、TOTO、MICHAEL JACKSON 等をはじめとする多くのアーティストとプロデューサーやレコーディングを行ってきました。ドイツの Brainworx Studio (www.brainworx-studio.de) では、これまでに9台しか製作されなかったNEVE VXS 72 コンソールの1台と最高級のアウトボード EQ やマイクプリアンプを所有しています。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



この素晴らしいセットアップを使用して、Diezel Herbertアンプに使用するためにカスタマイズした膨大な“レコーディングチェーン”を作成し、それをプラグイン・アンプの設定に使用することができます。100種類もの完璧なマイキングやEQされたギターキャビネット等を1回のマウスクリックで簡単に使用することができます。

使用したキャビネットに最大12本のマイクを慎重にセッティングし、これらのマイクをビンテージのNeve VXSコンソールのそれぞれのチャンネルに接続しました。これにより、使用したマイクのミックスやNeveフィルターとEQによるきめ細やかなコントロールが可能となりました。そして、最終的なミックスはPro Toolsにルーティングされ、レコーディングしました。

様々なプリアンプやEQチェーンをキャプチャーするために画期的な方法が使用されました。3種類の異なるハードウェアプリアンプと、EQにスプリットされた並列のチェーンを作成し、Neve VXSコンソールの個別のチャンネルにルーティングされ、Pro Toolsに送られてキャプチャーを行う方法を使用しました。このルーティングにより、各チェーンを個別にレコーディングしたり、それらを組み合わせて使用することも可能となりました。

多くのアンプシミュレーターは、キャビネットとマイクの選択によっては違和感を与える場合があります。そしてこれらの不完全な設定はEQや、プロセッシングによってユーザーが補完します。異なるマイクセットアップのミックス、フェイズの調整、やEQなど…しかし、これらは簡単な調整ではありません。これらを正しく設定するには長年の経験が必要となります。

調整する必要があるのは、トーンやゲインで、アンプのチャンネルとセッティングに最高のサウンドを得られる REC CHAIN を選択しプレーするだけです。それはリコールでき、信頼があり、フレキシブルかつ即座に対応することができます。

レコーディングチェーンにお気に入りが見つけれなかった場合、最後のセッティングとして独自のマイキングをしたキャビネットを使用することができます (EMPTY PLAY VIA REAL CAB とラベリングされている)。このセッティングでは、Consoleに1台のチューブアンプのみの音を接続することになります。このサウンドがより良い効果を得る場合もあります。

1 + / - スイッチ (プラス/マイナス)

REC CHAINS テキストボックスのプルダウンメニューを使用するか、“+/-”記号をクリックしてREC CHAIN をブラウジングすることができます。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



1 Auto & Bar セレクション

使用する曲に最高にマッチするレコーディングチェーンを探す場合、マウスでレコーディングチェーンを選び、いくつかフレーズ弾いた後にまた次のレコーディングチェーンを探すためにマウスを使うという煩わしい操作をしなればなりません。

Diezel Herbertは、そんな煩わしい作業をしなくていいようにオートモードを提供しています。:パターン(1, 2または4小節)を選択するとプラグインはDAWのテンポにシンクし、レコーディングチェーンのオートメーションを使用できるようになります。このようにして演奏を中断することなく、いくつかのレコーディングチェーンの音を1, 2, 4小節ごとに自動的に切替え、試すことができます。スピーカーセットアップで聴きながらちょうど良いレコーディングチェーンが見つかったら、もう一度 AUTO ボタンを押し、オートモードを停止し、必要なレコーディングチェーンを選択してトーンやゲインを調整して音作りを進めてください。

2 RC インフォ

RCインフォ機能は、選択したレコーディングチェーンを作成するためにどのような設定が使用されたかを表示します。

3 インプットゲイン

Diezel Herbertプリアンプを強くドライブさせたい場合に、お好みに合わせてインプットゲインを調整することができます。ビンテージギターシングルコイル・ピックアップの中には、インプットゲインの補正が必要な低レベルのアウトプットの物があります。

ヘビーメタルスタイルのハイゲインのハムバッカーの場合は反対です。DI シグナルが過剰な場合や、Diezel Herbertアンププラグインにインプットする前に他のプラグインを使用している場合は、インプットシグナルを下げたくなるかもしれません。

標準的なギターを使用する場合、インプットゲインを“0”から始めることを推奨します。

4 バイパス・プリアンプ

プリアンプ・セクションをバイパスします。

バイパスプリ・スイッチを使用すると、Diezel Herbertのプリアンプを完全にオフにすることができます。これは、その他のハードウェア・ギタープリアンプを使用し、Diezel Herbert を介してレコーディングする場合に便利です。この場合でも内蔵のパワーアンプとスピーカー/レコーディングチェーンのシミュレーションを使用することができ、外部パワーアンプやスピーカーを使わずにギターサウンドのレコーディングを行うことができます。

スイッチが上向き:プリアンプはバイパス(オフ)、スイッチが下向き:プリアンプはオン



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



1 バイパス・パワーアンプ

Diezel Herbertプリアンプの歪みだけを使用したい場合は、パワーアンプシミュレーションをオフに切り替えて使用可能です。ギター以外の音色にSE100プラグインを使用することも良いアイデアです。モダンなギターサウンドをレコーディングするには、アンプ全体のサウンドに不可欠であるパワーアンプをオンにしたまま使用することを推奨します。

2 パワーソーク

アウトプットボリュームをコントロールします。
ハードウェアの世界では、パワーソークはギターパワーアンプのボリュームを下げるために使用されています。この方法でパワーアンプの出力を上げ、クリッピングが始まるまでドライブさせても聴覚を保護し、隣人に迷惑をかけずに済むボリュームを保つことができます。チューブがクリッピングしたパワーアンプは、ギターサウンドに歪みやハーモニクスを加えます。完全にクラクアップされたパワーアンプは、パワーソークで音量が変化し、マスターボリュームを下げた場合とは異なったサウンドが得られます。SE100のチューブパワーアンプの動作を正確にモデリングしているので、アンプのマスターとパワーソークの異なるサウンドをお楽しみいただけます。標準的な設定は、約 -10dBから始めることをお勧めします。

レコーディングチェーンに使用したキャビネット

Diezel 4x12

フロントロード・キャビネットCelestion G12K-100 loaded

Diezel-412FKは、フロントローディングの4x12“ キャビネット、4 x G12K-100 Celestionスピーカーを搭載しています。このキャビネットは、18mmのアフリカンオクメ材が使用されています。

このキャビネットの中心になるのは、Celestionの“monster of rock” - G12K-100です。これは、広い周波数特性を持ち、明瞭さと巨大なパワーをハンドリングすることができます。このキャビネットにより、力強いボトムエンド、堅牢なミッドレンジ、そして控えめトップエンドを実現し、モダンなハイゲインサウンドに最適です。

すべてのDiezelキャビネットと同様に特大の12ゲージスピーカーワイヤーを使用してスピーカーとターミナル間をはんだ付けされています。このハンドメイドのキャビネットは取り外し可能なキャスターが付属し、ロードの厳しさにも耐えうる設計がなされています。

1960B 4x12

Marshall 1960B 1978 4x12 Celestion G12M Blackback 75Hz スピーカー



Diezel Herbert

Plug-in Manual



Suhr 4x12

Suhrカスタムメイドの4x12“スピーカーキャビネット(ストレート)に4基のVintage 30スピーカーを搭載しています。

American 4x12

Mesa Boogie Rectifier® 4fb 280W 4x12 Vintage 30

STANDARD Rectifier® 4x12は、オーバーサイズの4x12キャビネットで、唸るようなローエンドにパンチやレゾナンスを提供します。スムーズなミッドレンジとはっきりとしたハイエンドに調整され、もっとも人気のある4x12キャビネットと言え、ヘビーなサウンドのアイコンとなっています。

English 4x12

Marshall 1960TV Lead 100W 4x12 Greenback G12M-25

1960TVには、Celestion® G12M-25 Greenbackスピーカーが搭載されており、これは、1960A™で使用されている75 WのCelestionsよりも余裕があり、25 WのGreenbacksは、よりウォームでサチュレーションが得られます。この100Wのモノラルキャビネットは、1960Aや1960B™よりも65mm高さがあり、ミッドレンジのレゾナンスレスポンスが低くなります。

往年のクラシックな外観と色調を再現するために、Marshallは、1960TVを提供しています。1960TVの4基のMarshall/Celestionによるハウジングは、25wのGreenbackスピーカーを再現するように設計されており、60年代後半のECフレットクロスとよりスムーズなエバントクロス・カバーで仕上げられています。

Marshall 1960TVは、スタンダードな4 x 12“インチよりも4インチ高く作られており、TVの名称は“Tall”、“Vintage”の頭文字から付けられています。

.ORANGE 4x12

**Orange® PPC 212 closed-back 120W – 2x12 Celestion Vintage 30
スピーカー**

120WのOrange Amplifiers PPC212-Cギタースピーカーは、多くのパワープロジェクトン・キャビネット(PPC)のように13プライの高密度18mmバーチ合板を使用して作られています。Orange amplifiersのスピーカーエンクロージャーは、非常に頑丈な構造を保証する製造技術で制作されています。Orangeのユニークな“スキッド”デザインは、このキャビネットをよりステージに合うように、よりタイトなベースレスポンスとフルレンジの密度を提供します。すべてのOrange Amplifiersのスピーカーエンクロージャーには、Celestion Vintage 30スピーカーと快適なフラッシュキャビネット・ハンドルが装備されています。Celestion Vintage 30スピーカーはオリジナルのCelestion Blueのサウンドと新しいコーンとコイルのアッセンブリーを採用しています。改善された性能: 定格60W、高出力時に発生する熱を効率的に処理、Vintage 30は大量のオーバードライブトーンを簡単に処理可能。これはクラシックな2x12ラウドスピーカーです。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



トップツールバー

1 アンドゥ / リドゥ

Diezel Herbert プラグインで変更したコントロールを、最大32ステップでいつでもアンドゥ/リドゥすることができます。セッティングを元に戻したくなった場合はいつでもアンドゥを使用することが可能です。

2 セッティング (A/B/C/D)

Diezel Herbert アンププラグインは、各プリセットに4種類の内部セッティング (A/B/C/D) を保存することができます。各プリセットにつき、最高で4個のアンプとエフェクトセッティングのバリエーションを保存することができます。

ディレイの有無や異なるディレイタイムの設定などを記憶させ、サウンドにバリエーションを持たせることができます。また、1つのプリセット内で、クリーンからクランチに変更することも可能です。

DAWでオートメーション化することができます。この方法によって、クリーンなサウンドから粗いリードサウンドまで瞬時に切り替えることができます。

3 コピー / ペースト

同じサウンドのバリエーションを作る場合、何度も一から音作りをする必要はありません。セッティング A のバリエーションをディレイ無しにしてB に作ると仮定します。:

- セッティング A を選択し、コピーをクリックします。
- セッティング B を押してセッティング B に切替えます。
- ペーストをクリックすると A のセッティングを再現します。
- ディレイをバイパスしてください。これで完了です。

AとBを切替え、同じサウンドでディレイの有無によるバリエーションを聞くことができます。

4 FXラック

FXラックとスタンダードビューを切り替えます。.

5 アバウトウィンドウ

プラグインの開発に関するインフォメーションを表示します。



Diezel Herbert

プラグインマニュアル



ファクトリープリセット

Diezel Herbert アンププラグインには、多くのプリセットが用意されています。その多くはストラト、テレキャスター、レスポールのような暗しなギターで動作するように作られています。すべてのファクトリープリセットは、A/B/C/D バリエーションを提供しています。試してみてください。

これにより、ブラウズすることができるファクトリーサウンドが4倍になり同様のアンプ設定で異なるフィルターやディレイ設定を適用するだけで印象の変わったサウンドになります。

これらのプリセットは、Diezel Herbertプラグインから得られるトーンのいくつかを簡単に試すためのデモンストレーション的な要素を含んでいます。

オリジナルのサウンド&プリセットの作成

オリジナル・サウンドを作り始める時に調整するもっとも重要なパラメーターはドライブ、レコーディングチェーン、トーンスタック(ベース、ミドル、トレブル、プレゼンスなど)です。

- トーンスタックのコントロールを中央(12時)の位置に設定してください。
- 好きなだけ多くのレコーディングチェーンを再生し、ノブを変更する前に探しているサウンドに近いものを選んでください。
- サウンドに最適なレコーディングチェーンを見つけたらトーンスタックやドライブを調整してアンプのセッティングを微調整してください。
- ディレイを加えるか、またはサウンドのバリエーションに対してフィルターやノイズゲートなどを加えてみてください。
- そしてあとはプレーするのみ！

様々な設定を試すことは、クリエイティブな実験です。異なる音色やレコーディングチェーンの膨大な選択肢は、様々な音楽ジャンルで素晴らしいサウンドが得られることを確信しています。

Diezel Herbertアンプと他のプラグイン(ダイナミクス、エフェクト、ルームシミュレーション)を組み合わせ、どんなプロダクションにも対応可能なギターサウンドを作ることができます。お楽しみください。



BRAINWORX

Plug in, Rock out! - www.brainworx.audio